

プラスチック・ゴム成形における ブリードアウトの発生メカニズムと防止対策

1名分料金で
2人目無料セミナーURLはこちら→ <https://www.rdsc.co.jp/seminar/250848>

- ◆日時: 2025年08月07日(木) 12:30~16:30
- ◆【アーカイブ配信受講: 8/8(金)~8/22(金)】を希望される方は、
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/seminar/250848A> こちらからお申し込み下さい。
- ◆【WEB限定セミナー】在宅、会社にながらセミナーを受けられます
- ◆受講料: 1名につき49,500円(税込、資料付)

会員(案内)登録していただいた場合、通常1名様申込で49,500円(税込)から
 ・1名で申込の場合、**46,200円(税込)**へ割引になります。
 ・2名同時申込で両名とも会員登録をしていただいた場合、**計49,500円(2人目無料)**です

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

●講師: 群馬大学 大学院 理工学府 特任教授 工学博士 黒田 真一 氏

【講演の趣旨】

高分子材料には、成形加工時や使用中の劣化を防ぐために安定剤が配合されている。その他、成形性の改善や機能性の付与のためにも様々な物質を添加している。ブリードアウトとは、これらの各種添加剤が経時により凝集固化して材料表面に析出して粉化する現象である。本講では、ブリードアウト現象を理解するために必要となる物理化学的事項と高分子材料の構造的特徴を解説する。また高分子用添加剤の概要をまとめるとともに、ブリードアウトの代表的分析手法を解説する。

【プログラム】

- ブリードアウトの熱力学
- プラスチックの種類及び用途
- プラスチックの分子構造およびモルフォロジー
 - プラスチックの分子構造
 - プラスチックのモルフォロジー
- プラスチック添加剤の改良目的と添加剤の種類
 - 酸化防止剤
 - フェノール系酸化防止剤
 - リン系酸化防止剤
 - イオウ系酸化防止剤
 - 光安定剤
 - UVA
 - HALS
 - 添加剤による着色、変色機構
- 添加剤の溶解度と拡散係数
 - 添加剤の液体溶媒とプラスチックへの溶解度の違い
 - 添加剤の前処理による影響
 - 添加剤のプラスチックの違いによる影響
 - 添加剤分子の大きさや長さの影響
 - プラスチックの結晶度による影響
- 添加剤のブリードアウトの原因
- ブリードアウトの理論および測定法
 - プラスチック中での添加剤の溶解性の理論
 - フィックスの拡散法則
 - プラスチックフィルムやシートで拡散係数を求める方法
 - Mass Uptake Experiments
 - 添加剤添加フィルムの無添加フィルムへの移行実験
 - ブリードアウトの分析方法
 - 表面分析法
 - ブリード物の分離分析
 - ブリード物の分布状態観察
 - ブリード物の結晶状態観察
- 相溶化技術の応用
- ブリードアウト現象の制御
- ブリードアウト対策の考え方

申込書	※ご希望の参加形式にチェックを入れて下さい⇒ ☐ LIVE/ ☐ アーカイブ		
会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

☐Eメール ☐郵送

● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたします。受講用URLは後日お送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>